



# ワークライフバランスと 企業によるWLB支援

---

佐藤博樹

東京大学社会科学研究所

2007年8月



## WLBとWLB支援(1)

---

- 広義のLにWが含まれるが、Wを取り出して議論するのは、働く人々のLの現状がWのあり方に規定される程度が大きいことによる
  - 現状では、Wが変わらないと広義のLの充実が難しい
  - WLB支援が浸透すると、家庭生活や地域生活のあり方も変化しよう



## WLBとWLB支援(2)

---

- すべての人々にとって唯一望ましいWLBがあるわけではない
- 個々人にとって望ましいWLBも変化する
  - WLBはW以外の様々な活動に取り組みないと実現できないものではない
  - 企業によるWLB支援は多様なライフスタイルを受け入れることができる環境整備(ライフスタイル・フレンドリーな職場・働き方作り)
  - ←特定のライフスタイルの選択を求めるものではない



## WLBとWLB支援(3)

---

- WLB支援は子育て支援に限定されない  
→限定するとWLB支援施策は機能しない
- WLB支援は、支援にかかわる制度の導入のみでは実現できない
  - 制度を活用できる職場環境
  - 「時間制約」を前提とした仕事管理・働き方
  - 多様なライフスタイルを受容できる職場風土